

SS-052 人間関係の問題を人生の課題としてアドラー心理学から考える

企画代表者：向後 千春（早稲田大学）
話題提供者：深沢 孝之#（心理臨床オフィス・ルーエ）
話題提供者：鈴木 義也#（東洋学園大学）
話題提供者：岸見 一郎#（京都聖カタリナ高校）
司会者：服部 弘子（早稲田大学）

現代の人間関係は複雑で多層的になってきている。学校、職場、家庭、サークル、地域、またオンラインコミュニティでの人間関係で悩み、苦しむ人は増え続けているように見える。本来、人と人がつながりあい、協力しあうべき人間関係であるにもかかわらず、そこがトラブルや悩みの源泉となっている。そのため、人間関係で悩み、傷ついた人たちをサポートする仕事のニーズも大きくなりつつある。

そうした現状にあって、よりよい人間関係を作り、自分も相手も幸福になるためには、どのような考え方や方策がありうるだろうか。アルフレッド・アドラーは、仕事・交友・愛における人間関係の問題を、ライフタスク（人生の課題）として真正面からとらえてきた。このシンポジウムでは、人間関係の問題に対して、アドラー心理学からのアプローチをしている研究者を招き、その実践の紹介に基づいて、参加者を含めて議論を深めたい。